



千の手

犬山
つがおかんのん
継鹿尾觀音
寂光院



寂光院 山門前

へ千体觀音堂へ 内陣修復事業・完了

〈三十三觀音記念年〉

当山ご本尊千手觀世音菩薩は秘仏にして、六十年に一度「甲子歳」に御開帳を奉修してまいりました。昭和五十九年が甲子歳で、それを記念して、山門前にご信徒よりご奉納戴きました千体の聖觀音様をお迎えして「千体觀音堂」を建立、以来寂光院に参詣される皆様方が一番最初にお参りして戴けるお堂として身近になりました。

平成二十九年に建立三十三周年を迎えたました。まさに「三十三觀音」といわれる如く觀音様の記念年に当たりましたので、皆様方のご信援を戴きました、おかげさまにて全面修復が完了いたしました。



◎本物に出会う

寂光院といえば、ご本尊様は「千手觀世音菩薩」です。今でこそ、ご縁日には犬山遊園駅より直行バスが運行されますが、私が寂光院に晋山した昭和四十八年当時は犬山遊園駅はもちろんのこと、犬山駅、鵜沼駅から歩くしかありませんでした。たとえ寂光院の山麓に到着されても、先ず百五十段ほどの石段を登つて庫裡事務所、更に三百二十段ほど登つてやつと本堂にたどり着くようなことでした。よほどの志、篤い信仰心なくしてはお参りになれなかつたことだと思います。しかし、山上ご本堂の千手觀音様にお参りされた時の悦びは計り知れません。本当に千手觀音様の「千の手」で抱かれるような「平穏な安堵感」、新たに前向きに「生きる力」が蘇つたことと思います。



観音様の「観」 —絶景展望台からの眺め—

犬山・寂光院山主

まつだいらじついん
松 平 實胤

昨今は便利になり、容易にお参りが出来ますが、ご参詣の皆様方からは、町のお寺様とは違う爽やかな大きなお力、生き抜く勇気が戴けると喜ばれます。尾張最古刹という歴史と伝統、国定公園という自然豊かな環境、「本物に出会う」感慨はひとしおのものがあると思います。

◎觀音様はいつも山の上

仏さまのお住まいをお淨土といいます。お淨土といいますと私どもが死後に往生する世界と思われるかもしませんが、觀音様のお住まいは補陀落淨土といつて私どもの住む「この世、人の世」にあります。そこには補陀落という山があつて、觀音様はいつもその山頂においてになります。伝統ある觀音靈場に山寺が多いのもその理由です。觀音様は正式には「觀世音」と申されます、「世の音を觀察する」という意味です。世の音は

「この世の人々の苦しみ悩み、喜び悲しみの声」のことですが、觀音様は声なき声まで聞きもらすことのないよう山の上からしっかりと觀察しておいでになるということです。その声を確認して、共に喜び（慈）共に悲しみ（悲）、常に私たちに寄り添つて下さる存在で、私たちに前向きに生きる力、生きる勇気を与えて下さるというのです。觀音様にお参りすると、いつも心が安らぐのはその慈悲のお心に依るものだと思います。

◎山上本堂の觀音様にお参りすると、あなたも觀音様になれる？

觀音様はまた「観自在」とおっしゃいます。こだわりのない、大らかな目で自在に観ることが出来るという意味です。実は私は生来、こだわりが強く、その上、驕り、自惚れの強い男です。俺が、俺がの「我」がいつも頭をもたげ、人様に迷惑をかけ、思う通りにならない自分にいら立つこ

とが多い困った性格の持ち主です。そんな私が、曲がりなりにも何とかここまでこられたのも山寺の住職だつたからだと思います。

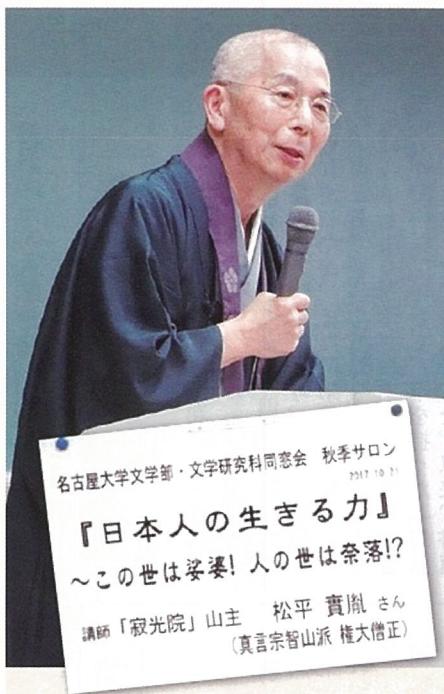
所詮私は「井の中の蛙」、早い話が狭い部屋の中の風景ばかりを眺めてあれこれこだわってきたのでしよう。しかし、毎朝山上の本堂に上がり、お勤めの後、織田信長公が眺めたと伝えられる本堂脇の展望台からの「絶景」を眺めると、こだわりが嘘のように晴れ、なぜか目に入る尾張から美濃にお住いの皆さま方のそれぞれの「平安とご清栄」を祈る大らかな気持ちが自然と湧いてくるのです。内にしか向かない自分勝手な目が、少しでも外に向かい、自然とみんなの幸せを祈ることが出来る大らかな気持ちが戴けます。これこそが觀音様のご利益だと思います！

第十二回 名古屋大学ホームカミングデイ

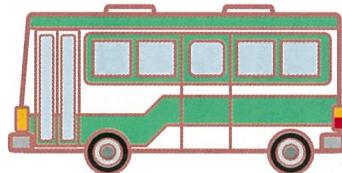
名古屋大学文学部・文学研究科同窓会「秋季サロン」

昭和四十八年、二十六歳で寂光院の住職に就任させて戴いてより、早四十五年、こんな私に「ご法話やら、講演を、」とご依頼くださる皆様方のおかげで、各地各方面で講演活動をしてまいりました。七十二歳を過ぎた今でも月に何度かお声をかけて戴いております。とても有り難いことです。

さて、私の長い講演活動で一番印象深い講演会となつたものが最近ありました。「名古屋大学文学部秋季サロン」です。私が名古屋大学大学院を辞してより四年、学問には全く無縁の生活で、学恩に報いることも一切なかつた私にご依頼がありましたのが四年前のことでした。お断りすること一再ならず、しかし恥を忍んでお引き受けすることにしました。そんな体たらくの私のことです。案の定、当日は台風襲来の悪天候となりました。風雨の中、「どうせどなたもおいでにならないだろう」と情けない思いで会場に向かいました。しかし、会場に案内されて驚きました。なんと意外にも沢山の人が会場を埋めておいでになりました。私は心の中で聴講の皆様方に手を合わせました。私の人生最高の講演会となつたのは言うまでもありません。「聴いて下さる皆様方のおかげ」です。

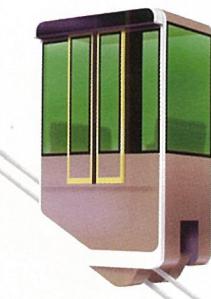


寂光院直行バス



「スロープカー乗り場」
・毎月五日・十八日の
七七月参り、大護摩祈祷
・八月九日「九万九千日」
ほか特別行事

スロープカー



・本堂・絶景展望台行
・朝八時より夕五時まで
・毎日「自動運行」

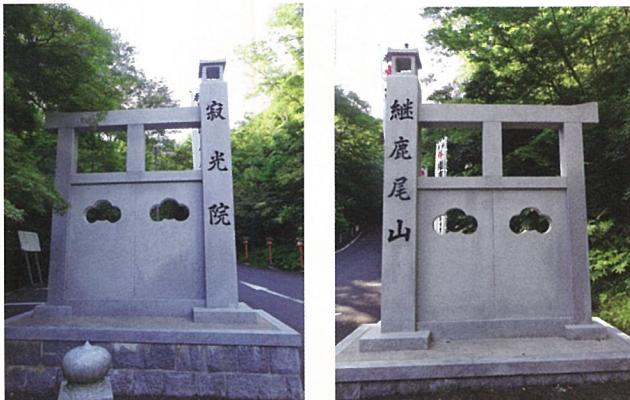
風雪に耐えて〇〇年 クリーニング工事で一新！！



昭和三十六年建立

筆弘法大師

書道向上・入試合格



昭和五十六年建立

総門

昭和三十四年の伊勢湾台風で失われた寂光院の総門ですが、昭和五十六年に緊急車両や観光バスが通行できる門ということで、石造のこの門が建立され、寂光院の「顔」となりました。以来四十年余の風雪で汚れが目立つようになりましたので、今回のクリーニング工事となりました。

当山中興第二十一世岩田大法師は大僧正・「集議席」の位にあり、まさに高僧であられましたが、また門弟子千人を越すといふ書家として著名な方でした。昭和二十七年に八十七歳で遷化されますが、門弟の皆様方が師の顯彰として、筆を持った「筆弘法大師」像を建立されました。以来、書道向上所ももちろん入試合格を祈願する皆様の拠り所となっています。しかし近年、風雪やカラス等の鳥害で汚れが目立つようになりました。今回のクリーニング工事でまたその凜々しい御姿が蘇りました。



昭和六十一年建立

仏手石

健康健脚

昭和六十年に松平實胤山主がお祀り戴きました記念に建立。仏足石・佛手石の下にはお祀りされた「初転法輪」の地、サルナートのお砂が埋められております。以来三十年余、「仏足石」は健康運営を願う皆様方の拠り所として、「仏手石」は智慧と技能向上を願う方の拠り所としてご参詣が絶えません。近年汚れが目立つようになりました。今回のクリーニング工事となりました。



昭和五十六年建立

愛の錫杖

人生に良縁・恋愛成就

弁天堂（国指定有形文化財）は「男女のみならず、人生のあらゆる場所でのより良き出会いの良縁」を叶えて下さる弁財天様をお祀りしております。昭和五十六年、恋愛成就を願う皆さん方に「願い」が現実のものとなるよう「一人で鳴らそう・愛の錫杖」を建立。昨今「良縁弁財天」のご朱印を求める皆様にことのほか人気です。そこで今回のクリーニング工事に加えられました。

寂光院・三大祭

◎一月十八日

「初観音・大祈願会」

清新の靈気みなぎるお正月の十八日は「初観音」様と申します。観音様から一年のご加護と福德を授かる最上功德日です。吉例により特別大護摩祈祷を奉修して、世界平和を願い、皆様の家内安全、商売繁盛、所願成就を御祈祷申し上げます。

◎三月五日

「秘仏観音・おいただき」

「おいただき」とは文字通り、両掌の上に秘仏千手観音様を頂戴するごとで、心に観音様をお迎えし、福德を招来するのです。日常生活では仏さまを手に載せる、あるいは、まさに手に持つ機会はありませんが、一年に一度この日この時に、是非ご参詣下さい。



◎八月九日

「九万九千日功德万倍日」

八月九日は、継鹿尾の觀音様にお参りすると、九万九千日の功德が戴ける日で、觀音様の最多功德日と申します。悪病や厄難を払い、福德を招来する特別大祈祷を奉修して、大護摩礼並びに福扇を授与いたします。



貴家、貴社に「福の風」をお迎えください



犬山八景 継鹿尾秋月【観月会】

継鹿尾山寂光院の本堂前から見る月は古くから犬山八景の一つに数えられ、「継鹿尾秋月」と呼ばれてまいりました。他の七景が環境の変化や都市化の波で今では全くその趣を失いましたが、今なお全山が国定公園でほとんど一〇〇年前と変わらない環境を伝承する継鹿尾山では中秋の名月は今なお犬山八景を代表する風景といつても過言ではありません。そこでこの度、一〇〇年前にタイムスリップして、現代では全く忘れ去られて久しい「継鹿尾秋月」を本来の場所から眺めてみる観月会を開催いたします。おそらく古人が秋月のもとで雅楽を奏で、それに合わせて舞い唄つたであろう、そのような趣向も併せてご披露したいと考えております。現代に失われた神祕、幽玄の美を体感していただき、犬山の伝統美を再認識して戴くことになればと念じています。

春は花、夏青もみじ、秋は紅葉、冬凜として靈氣漂う
県下最古刹1360年の歴史、国定公園という緑豊かな自然
尾北随一「春の爽やかな青もみじ、
秋の雅なまでの紅葉樹林」に囲まれた

もみじ樹木葬地



寂光院の「もみじ樹木葬地」は、寂光院が好きで自然志向の皆様方、お墓の継承や無縁化が心配とお考えの方、
紅葉のもとで自然に還る、新しい形の永代供養墓です
<詳細は寂光院事務所まで>



平成二十九年 九万九千日記念慈悲行

(三十三観音記念年)

寂光院山門前 〈千体觀音堂〉

内陣修復事業・完了

(表紙写真・参照)

千体の聖觀音様をお祀りする「千体觀音堂」は、寂光院に参詣される皆様方が一番最初にお参りされるお堂です。左ページ各企業、並びにご信徒の皆様方のご協賛により、修復が完了致しました。ここに衷心より御礼申し上げる次第でございます。

平成三十年 九万九千日記念慈悲行

本堂周辺（コンクリート製）参道を「石畳」参道に改修

寂光院のご本堂は山の中腹にございます。昭和四十八年当時は地道で、ことのほか雨の季節は足元がぬかるんでご参詣の皆様も難儀されました。山上ですので資材を上げるのも人手の時代で難工事でしたが、一念発起してコンクリートの参道を敷設したところ、ご参詣の皆様方から大層喜ばれました。以来四十五年、風雪に劣化されあちこちに段差もできました。

そこで石畳参道に改修して觀音様への報恩行とさせて戴きたく、ここに発願いたしました。皆様方のご信援ご協賛を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

寂光院山主 松平實胤



慶

祝

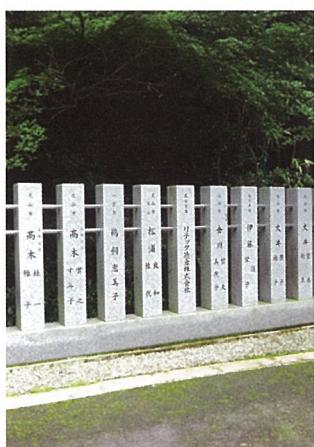
創立四十周年

タイム技研株式会社殿

昭和五十三年三月七日創業。ガス制御部品の開発製造を始め、今日では水用バルブ、電子コントローラの開発製造を行う、斯界のパイオニアとして今年四十周年を迎えられました。また、長年地域の文化などに貢献、二〇一〇年には一般財団法人タイム技研社会貢献委員会を設立、各方面に支援をされております。創立二十周年の折、丹羽公男会長とご縁を戴き、以来二十年、当山に格別のご信援を戴いておりますが、この度創立四十周年を記念して、当山の国指定登録文化財の建造物の維持管理、並びにもみじ寺として山林保全と、沢山のご支援を賜りました。益々のご隆昌をご祈念申し上げます。

お申し込み受付中 !!

玉垣建立のおすすめ



寂光院友の会 千手会ご案内

千手会は寂光院に心を寄せて戴いている皆様の集いです

千手会にはわざらわしい制約は一切ありません

千手会はすべて自由参加です 是非ご入会下さい

千手会申込書

(特典はホームページをご覧下さい)

正会員(一〇三千円) 口 円
賛助会員(二口三万円) 口 円

右申込致します

住所〒

氏名

電話

年月日

おとし



内陣 特別参拝

月例大護摩祈祷 <祈りの淨火>

毎月五日・十八日、午前十時半

この日、この時の吉縁

ご本尊千手觀音様の御前で、お願ひ事を直接お参りできます。そのあと、「やすらぎ法話」にもご参加いただけます。

「お護摩」の淨火で清新な自分を取り戻して、觀音様から「お願ひ事」を成就できる力を戴くご祈祷です。



七七月まいり (心を養う)

○ 五日 健康長寿 大隨求菩薩縁日
○ 十八日 一心祈願 千手觀世音縁日
・各十時半より、

大護摩祈祷と松平實胤山主の

「やすらぎ法話」

・犬山遊園駅より直通バスあり

ご縁の日がご縁日

七七月まいりは「月参り」です。いつでもご都合のよろしい日がご縁の日(縁日)
【七七月まいり】の受付は年中無休です。

寂光院への連絡方法	
①電話	0568 (61) 0035
②FAX	0568 (61) 5953
③〒振替	00800-4-40664
④ホームページ	犬山寂光院 [検索]

七カ月お参りすると「大願成就」!!

発行所 繼鹿尾觀音 寂光院
〒四八四一〇〇九一
愛知県犬山市継鹿尾山
平成三十年八月九日発行 (第五十六号)